

わかたけ

春日部市立武里小学校
児童数418名(10/3)
平成29年10月3日発行

～〇〇の秋～

教頭 菊池 邦隆

校庭の木々も色づきはじめ、季節は徐々に秋らしくなってきました。先日、ある学級で、〇〇の秋でイメージすることは何ですかと質問し、集計したところ、第1位はスポーツでした。スポーツというと、最近ではサッカー男子日本代表のワールドカップ出場決定、新体操女子日本代表団体の42年ぶりの銅メダル獲得、そして桐生祥秀選手の日本学生対校選手権陸上男子100m決勝での日本人初となる9秒台(公式記録9.98秒)などの明るい話題が記憶に新しいところです。桐生選手は幼少時から外遊びを好み、小学生時はサッカーに熱中するなど運動がとても好きだったそうです。市内陸上大会、ドッジボール大会、武里小運動会に引き続き、今月8日(日)には本校会場に武里地区体育祭も行われます。子どもたちには体育祭参加を含め、スポーツの秋といわれるこの時期に、朝マラソンや外遊びなどを通して、桐生選手のように大いに運動遊びやスポーツに親しんで欲しいと考えます。



子どもたちの回答の第2位は読書でした。本校では今月中旬から、読書まつりを行います。図書室もより多く活用されますが、図書室は各教室から離れたA棟3階にあり、遠くて使いづらいのが現状でした。しかし、7月から本校の学校図書館主任や図書館支援員の計画、図書ボランティア及びPTAの皆様の御支援、全児童の作業等を計画的に行い、先月末にB棟2階へ無事引っ越すことができました。感謝申し上げます。多くの皆様



の思いが込められた新図書室は、今月から開設になりました。

子どもたちの回答の第3位は食欲でした。御紹介ですが、給食の献立を考え、栄養指導・管理を行っている本校の栄養士が、先日、近隣2校の栄養士とチームを組み、埼玉県学校給食調理コンクールに出場しました。コンクール当日に調理した給食メニューは、黄金ライス、内牧肉野菜のコロコロハヤシ、りっちゃんのサラダ、春日部黒大豆入りミルクゼリー、牛乳の5品で、子どもの嗜好と相性、独創性、栄養バランス、調理技術、色彩・見栄え等、全ての項目で高評価を得て、見事グランプリ(優勝)を受賞しました。本校は、栄養士をはじめ、調理スタッフがー丸となり、毎日栄養バランスのとれた安心安全なおいしい給食を子どもたちに提供しています。子どもたちには、



この秋に、食に対する感謝の気持ちを再確認すると同時に、給食を含めた食事の際、好き嫌い無くもりもりと食べて欲しいと思います。なお、11月9日(木)には、わかたけホールで、希望した保護者の皆様を対象とした給食試食会もありますので楽しみにしてください。

今月は、スポーツ、読書、食に関連する行事以外にも芸術、体験、見学、遠足等の行事が目白押しです。今月も教職員一同、学校教育目標の具現化に向けて取り組んでまいりますので、引き続き、御理解、御協力をお願い致します。



わかたけ大運動会

※写真は、練習時に撮影したものです



1・2年生 表現
「夢に向かって Fly high」



3・4年生 表現
「みかぐら」



5・6年生 表現
「組体操」



開会式
「校旗を先頭に児童入場」

平成29年度「わかたけ大運動会」。今年度のスローガンは、「最後まで かがやけみんなの 晴れ ぶたい」です。日頃の練習の成果を十分に発揮し、「本気・全力」で競技・演技をしました。当日は、大勢の皆様にお越しいただき、大きな声援を送っていただきましてありがとうございました。この日の子どもたちの活気と勢いを、10月以降、更にパワーアップしていきます。

夏休み 親子除草



8月27日に実施しました親子除草では、多くの保護者の方に御参加いただき、大変ありがとうございました。おかげ様で、見違えるようにきれいな校庭になりました。

2学期もきれいな校庭で、子どもたちは毎日元気いっぱい校庭を走り回っています。

備後須賀地区運動会



9月10日(日)に、本校校庭にて備後須賀地区運動会が開催されました。大人から子どもまでの様々な世代の方々が一緒に汗を流す機会となりました。地区に住んでいる本校児童も元気に参加していました。10月8日(日)には武里地区体育祭も本校校庭で開催予定です。

武里小人権標語

1学期に3年生以上の児童が、それぞれ人権標語を作成しました。たくさんの素晴らしい作品の中でも、特に秀逸であった作品をいくつか紹介します。



なりたいな 人の気持ちが 分かる人
心の声 気づいてあげよう やさしい気持ちで
笑顔に幸せ つまってる!
友だちは宝物!
なれるよね かげ口 わる口 言わない子

夏休みの自由研究



夏休みに子どもたちががんばって取り組んだ自由研究。理科や社会など、子どもたちが思い思いに研究に取り組み、すばらしいがんばりがたくさん見られました。素朴な生活の中の疑問や、ユニークなアイデアから研究に発展している作品もあり、子どもの豊かな発想力に感心をさせられるものばかりでした。